

資料9-1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1回以上認定更新）

【対象】令和6年12月16日現在1回以上更新し、かつ継続的に有効な認定を有している者（468名）

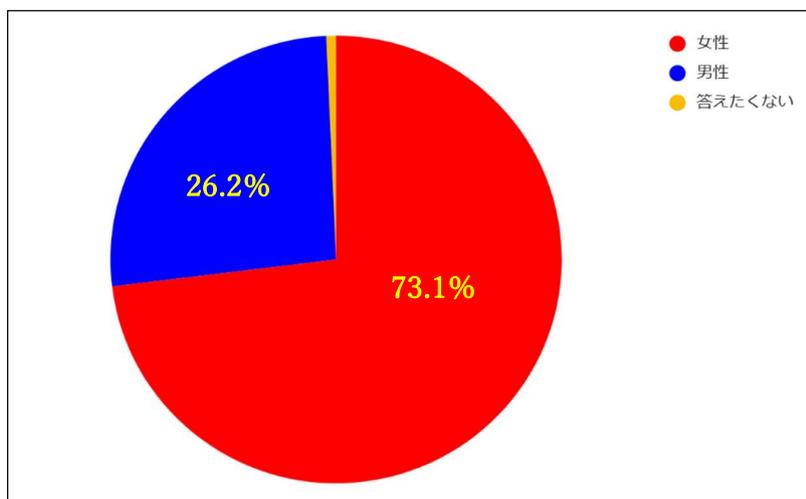
【方法】対象者にメールにてアンケート協力依頼を行い、Google フォームにて実施

【回答受付期間】令和6年12月18日～令和7年1月19日

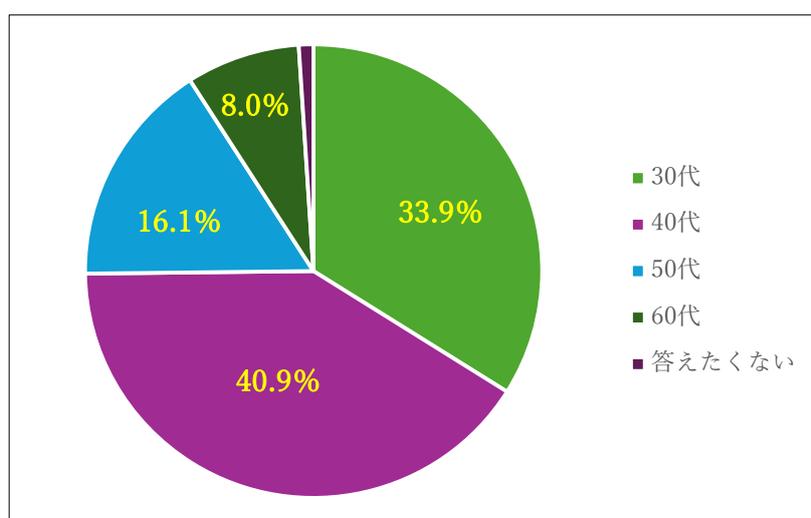
【アンケート回答数(率)】286名(61.1%)

【アンケート結果】

（質問1）性別を教えてください。

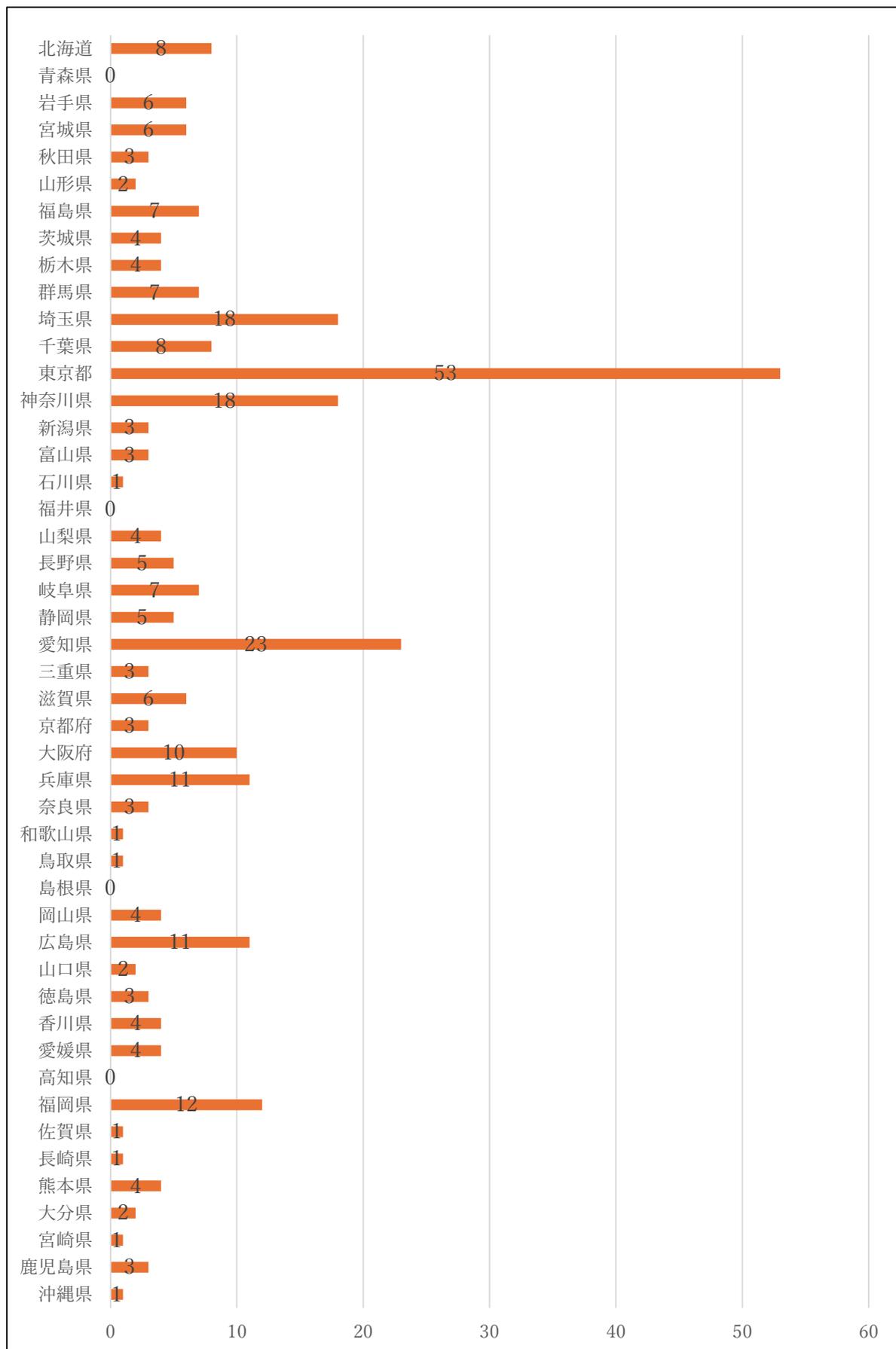


（質問2）現在の年齢を教えてください。



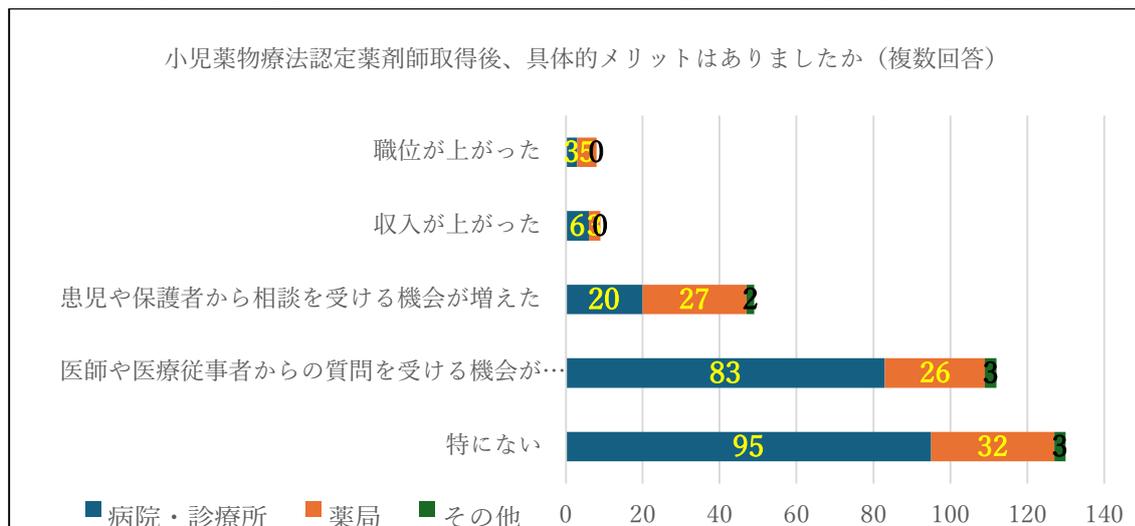
資料9-1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1回以上認定更新）

（質問3）ご勤務先の都道府県を教えてください。



資料9-1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1回以上認定更新）

（質問4）小児薬物療法認定薬剤師取得後、具体的メリットはありましたか（複数回答可）。

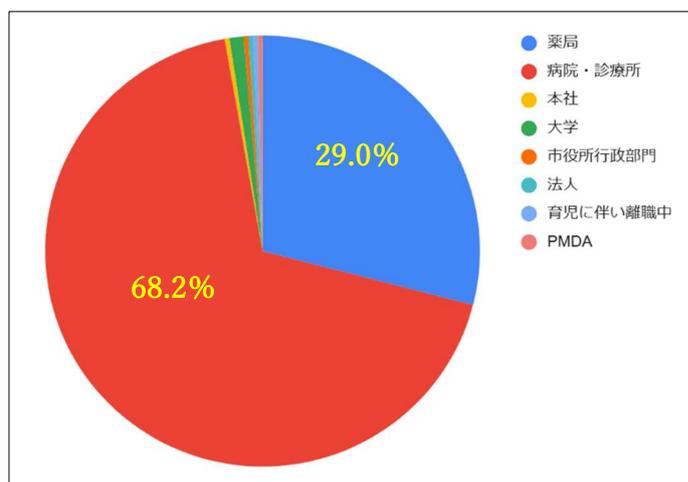


質問4(自由記載)	勤務先分類
小児に関わる担当にしてもらえた	病院・診療所
執筆の機会が増えた	薬局
小児科、新生児科病棟担当になれた	病院・診療所
自分の知識が増えた	病院・診療所
コロナの影響で何度もリストラに遭いました。	病院・診療所
小児在宅を担当するにあたり、相談できる人脈が増えた。	薬局
資格が認知されたわけではないですが、小児科の門前薬局に勤務する形になったので自信にはなっている。	薬局
小児についての知識を得ることができ、メーリングリストや小児医療を学ぶ会に参加することができていること	薬局
自分自身の仕事に対する緊張感が増した	病院・診療所
服薬指導する際に提供できる知識の幅が広がった	薬局
資格を持つことで、更に意識が高まった	病院・診療所
自分が質問されて答えるときの引き出しが増えた	薬局
社内で小児領域の質問が増えた。	薬局
患者さんや医療者からの質問に自信を持って答えられるようになった	薬局
スキルアップになった	病院・診療所
小児科に配属が継続となった。	病院・診療所
自身の知識向上	薬局
相談に質問に自信を持って答えられることが増えた	病院・診療所
患者さんに渡す名刺に書いているので、こどもに詳しいと思ってもらえる	病院・診療所
症例報告や論文を書くことが出来るようになった	薬局
小児病棟立ち上げをすることが出来た	薬局
得意になった	薬局
小児薬物療法の知識を多く得ることが出来た	薬局
自身の勉強になった	病院・診療所
小児に関わる薬剤師との連携が増えた	病院・診療所
小児関連の先生方とつながることができた。	大学
職場で小児関連の業務を継続して行える(病棟配置移動の際に考慮される)	病院・診療所
原稿執筆依頼	大学
小児病棟配置などの希望は通りやすい状況になっている	病院・診療所
小児薬物療法に関する論文を作成する機会が増えた	病院・診療所
小児領域での部内勉強会の開催が増えた	病院・診療所

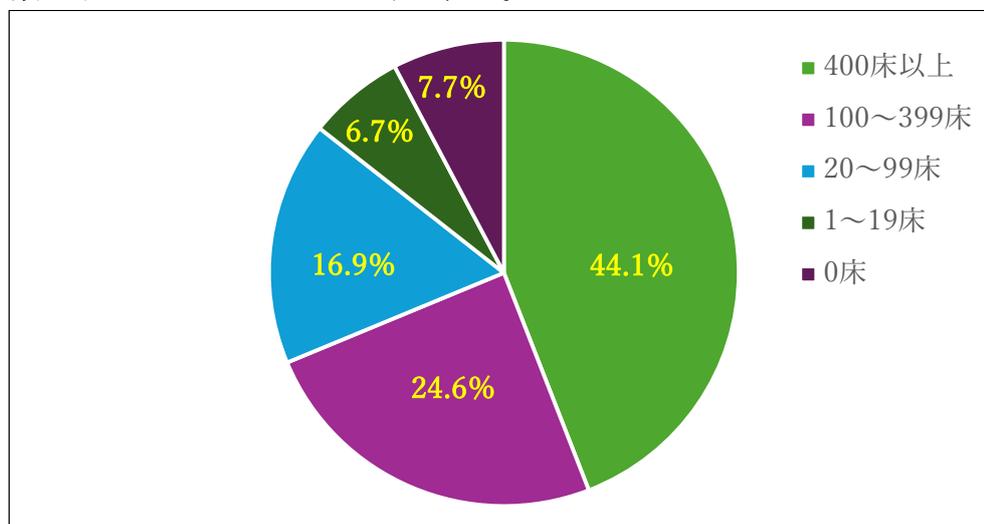
資料9-1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1回以上認定更新）

認定薬剤師の手当がついた	病院・診療所
全国の小児メインの薬剤師・医師と知り合いになれた。院内では特に認知されていない。	病院・診療所
他職種連携の地域活動のきっかけになった	薬局
小児に対して向き合い方が変化した	病院・診療所
転職時に強みになった	病院・診療所
相談できる仲間ができた	薬局
他医療従事者、行政にプレゼンするときに、説得力が増した気がする。	薬局
同じ分野を持つ他施設の仲間が増えた。産後にも活躍の場が多々あった。	病院・診療所
小児薬物療法研究会に所属し、仲間との情報交換、本の執筆、研究学会発表へつながった。	薬局
介入内容が深くなった	病院・診療所
リクルートで薬学生からの質問が多く将来性のある資格と感じた。	薬局
小児医療に熱心に取り組む仲間が増えた	薬局
研修会等の依頼が増えた	薬局

（質問5）現在のあなたの勤務先を教えてください。「その他」とお答えになった方は勤務先種類（例えば「本社」や「県庁」など）を記載して下さい。

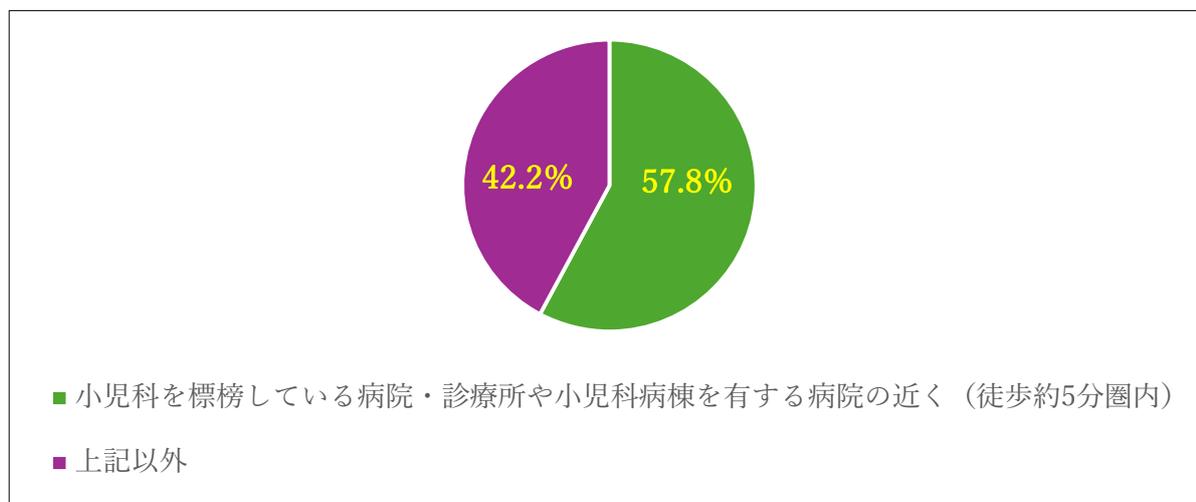


（質問6）質問5で「病院・診療所」と回答した方にお聞きします。ご勤務先の小児（科）病床数は以下のどれに当てはまりますか。

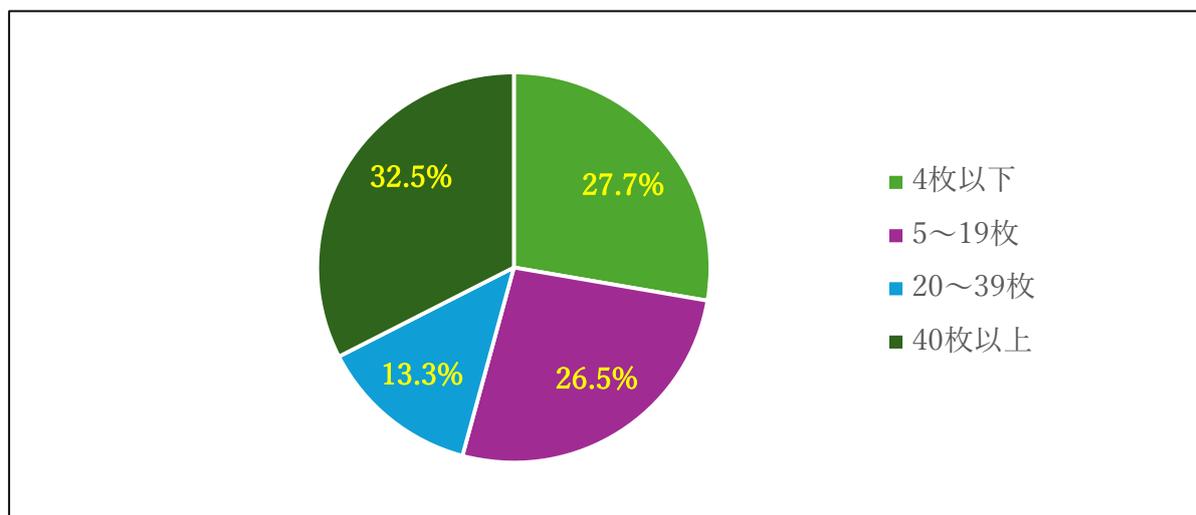


資料9-1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1回以上認定更新）

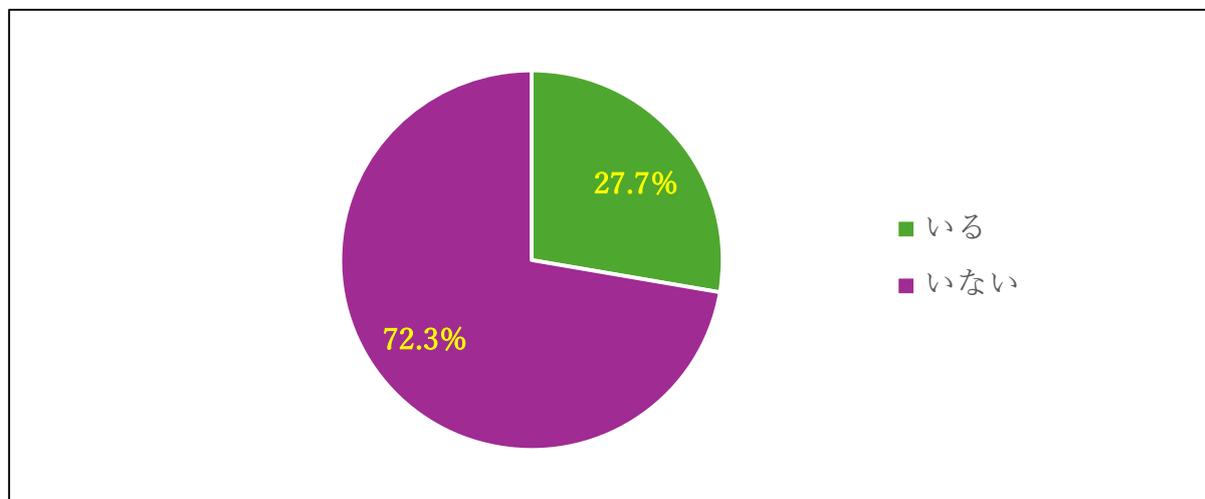
（質問7）質問5で薬局と回答した方にお聞きします。ご勤務先の立地環境は以下のどちらに当てはまりますか。



（質問8）質問5で薬局と回答した方にお聞きします。ご勤務先では小児（科）（15歳未満）の処方箋を1日あたりどの程度応需していますか。

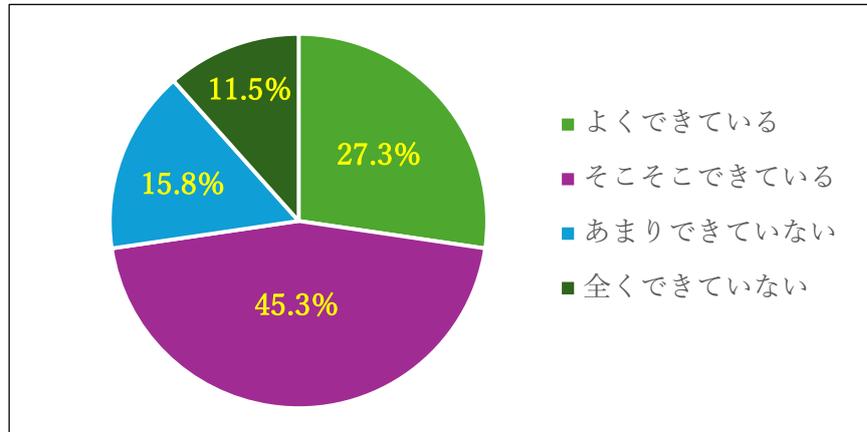


（質問9）質問5で薬局と回答した方にお聞きします。ご勤務先では、小児（15歳未満）への訪問薬剤管理指導を行っていますか。

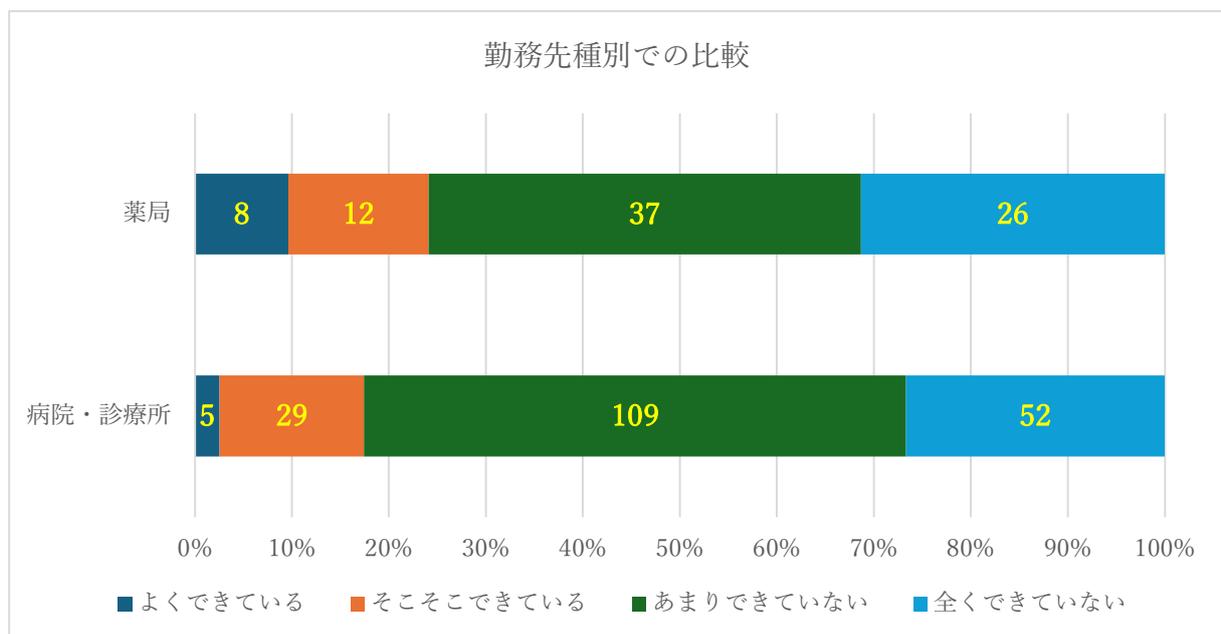
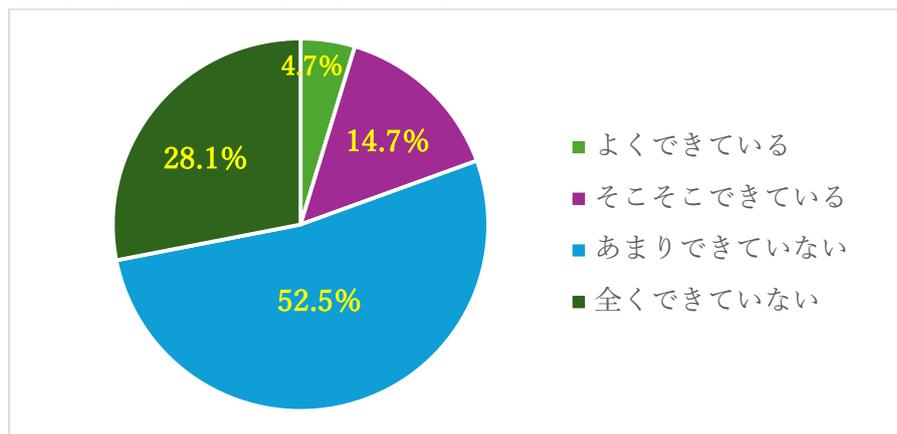


資料9-1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1回以上認定更新）

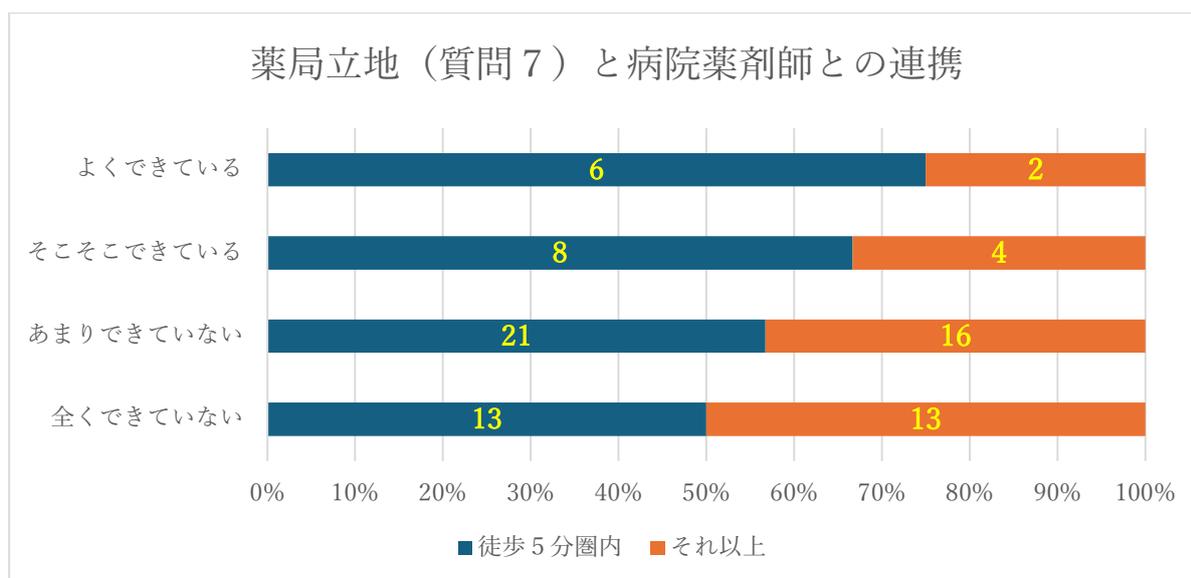
（質問10）勤務先または勤務先地域で小児科医と薬剤師の連絡・連携はよくできていると感じていますか。



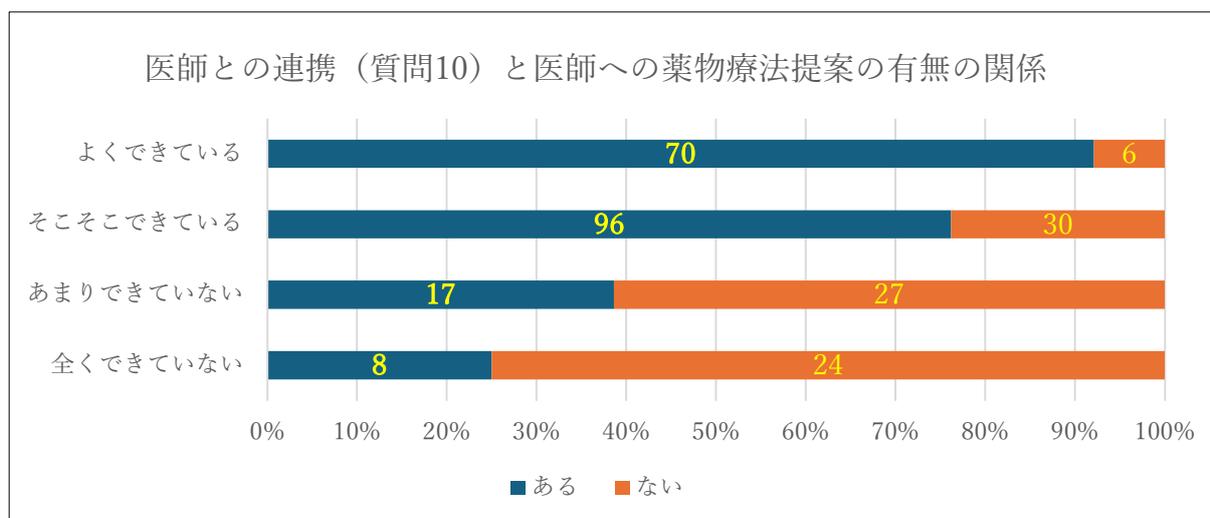
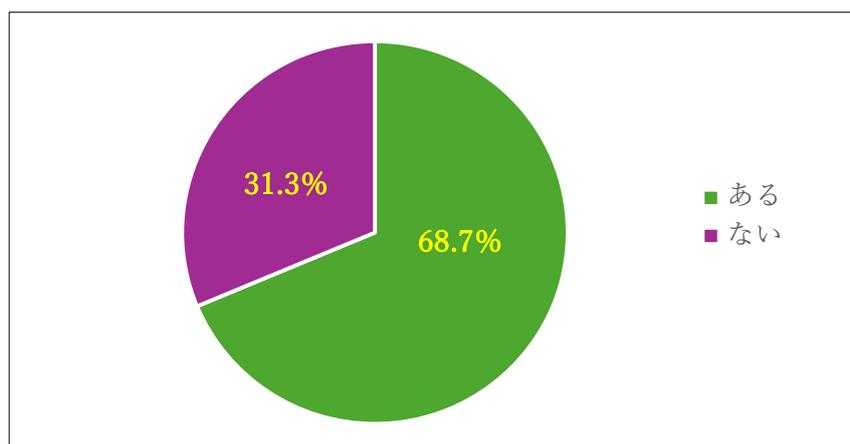
（質問11）勤務先の地域で、小児（15歳未満）に関して、病院薬剤師と薬局薬剤師の連絡・連携はよくできていると感じていますか。



資料9-1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1回以上認定更新）

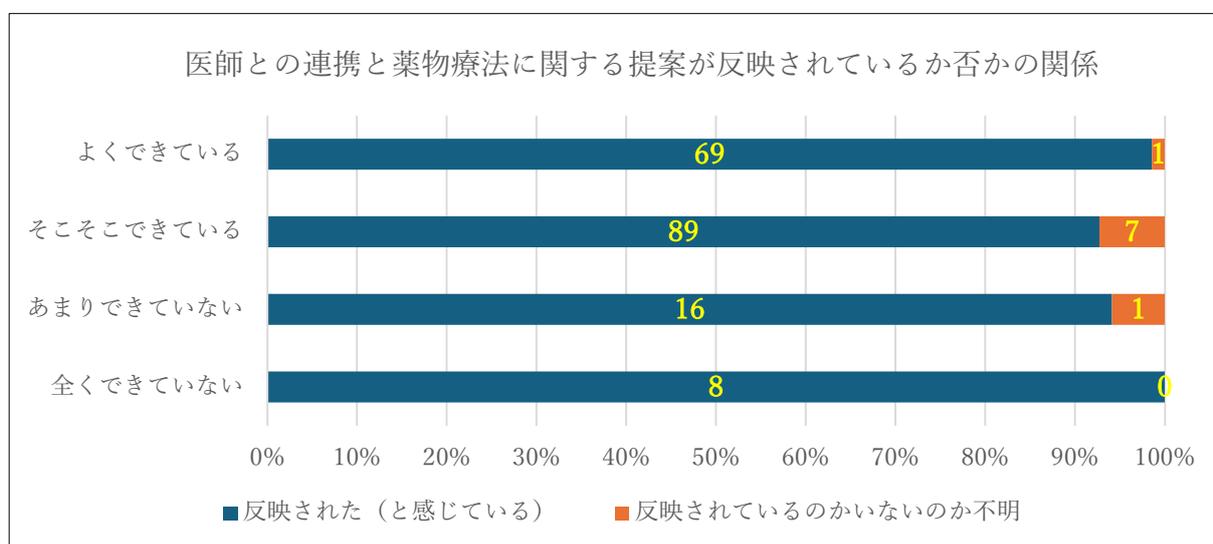
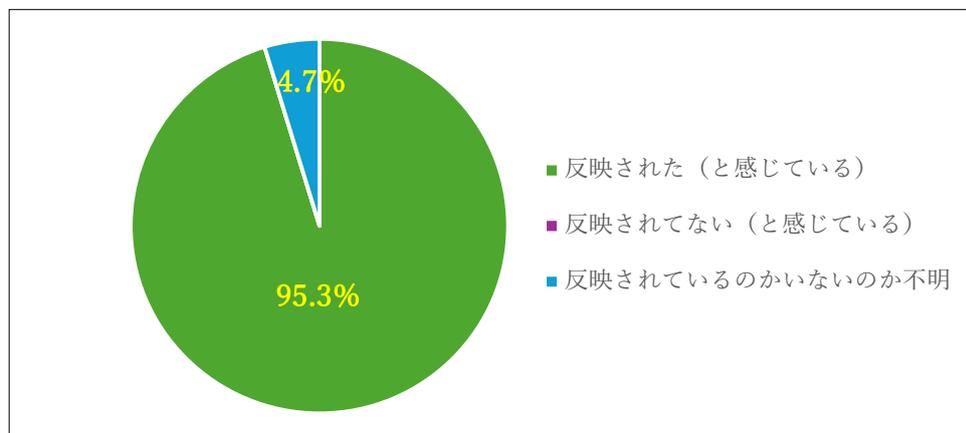


（質問12）処方箋疑義照会以外で、患児の薬物療法に関する提案を医師にすることはありますか。

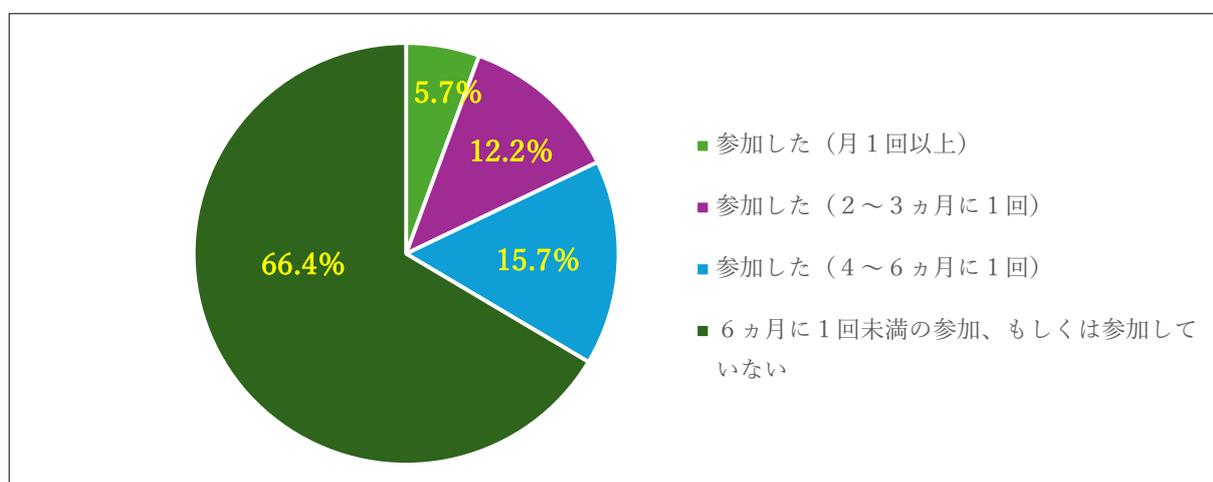


資料 9-1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1回以上認定更新）

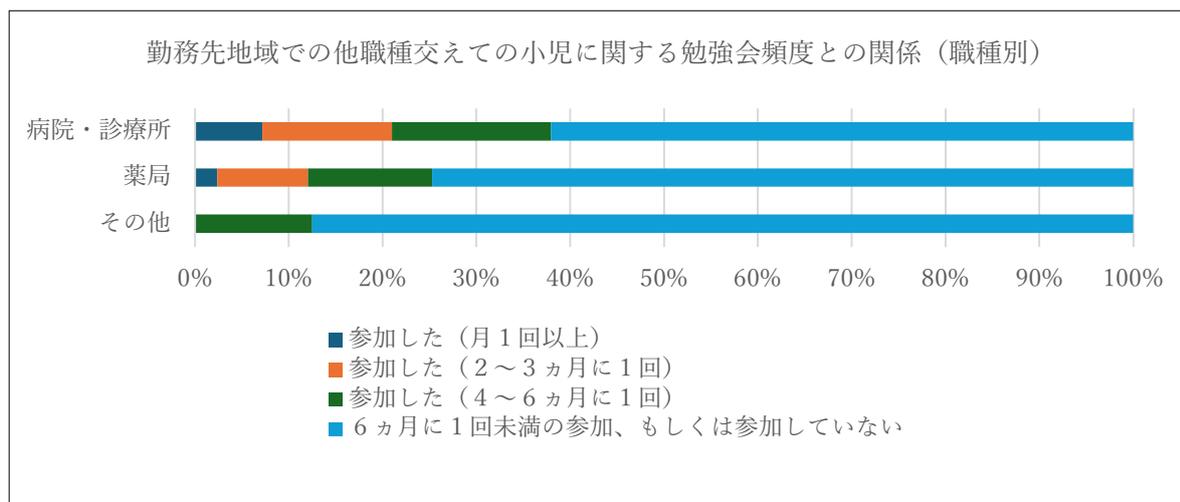
（質問 13）質問 12 で「ある」と答えた方にお聞きします。提案が患児の薬物療法に反映されましたか（あるいは反映されたと感じていますか）。



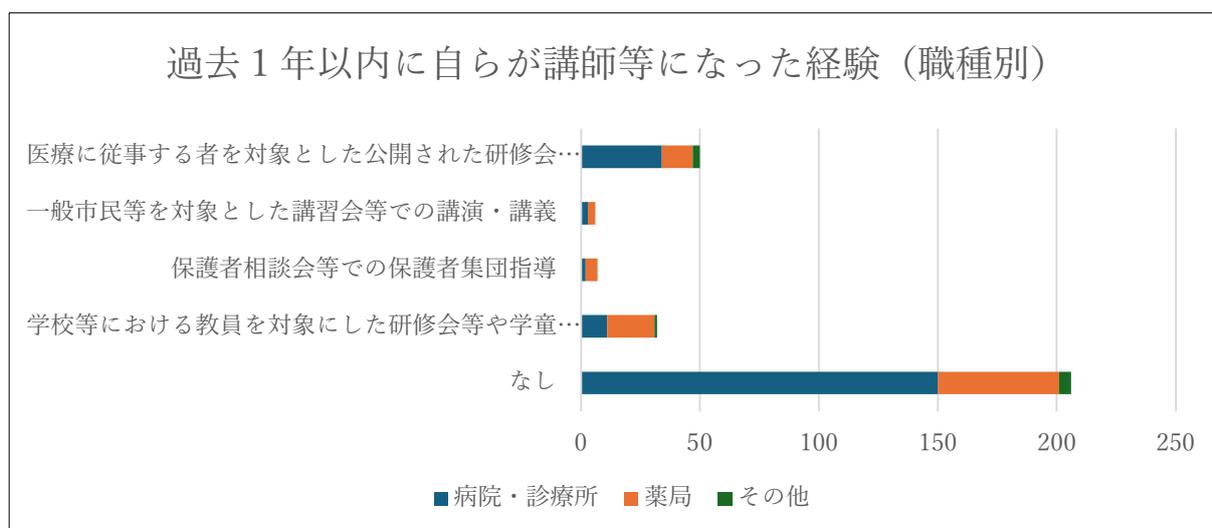
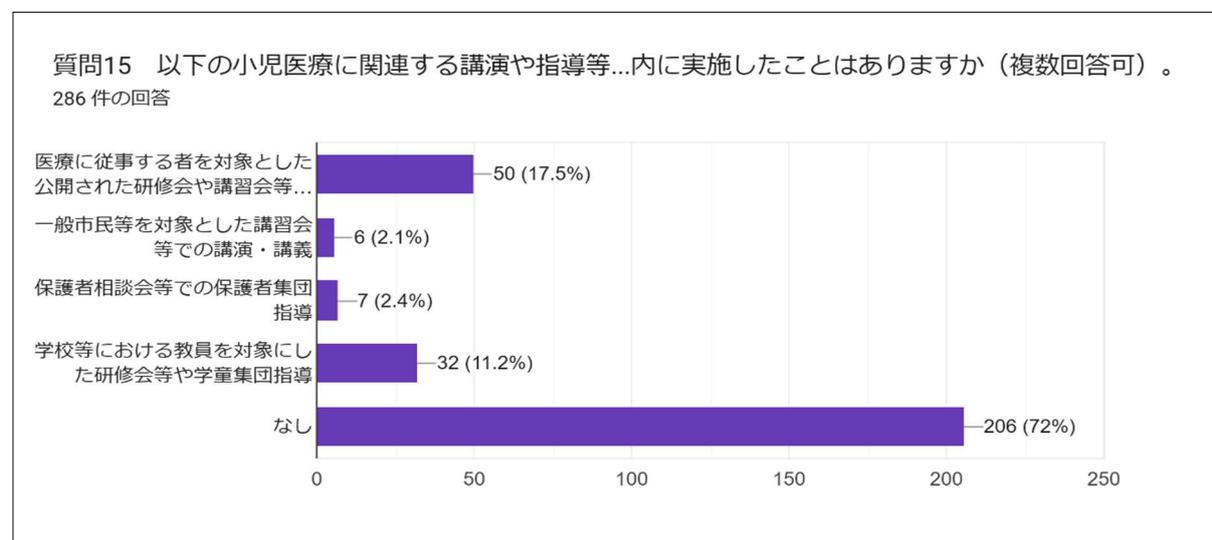
（質問 14）ご勤務先の地域で、小児科医師や看護師など、他職種を交えての小児に関する症例報告会や研修会、勉強会（医薬品に限らずとも構いません）などに、過去1年以内に参加したことはありますか。



資料 9 - 1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1 回以上認定更新）

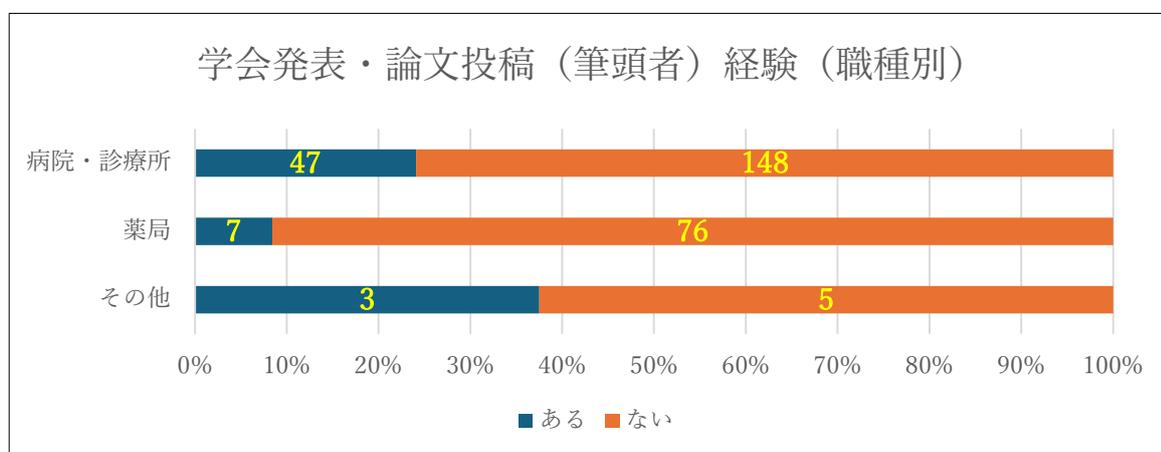
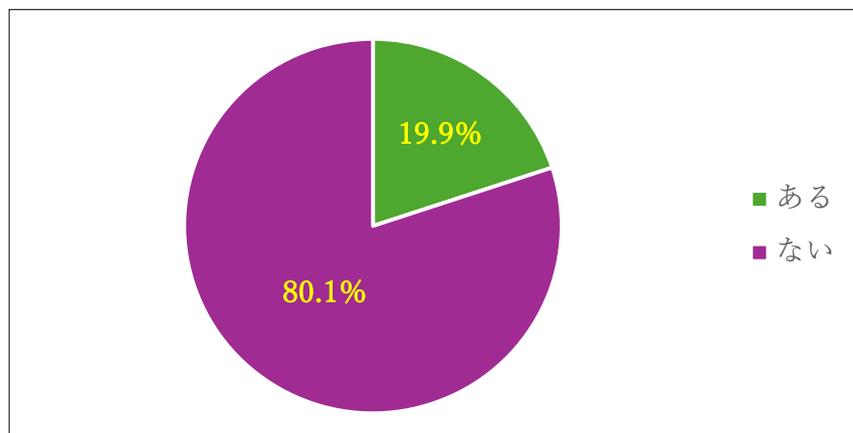


（質問 15）以下の小児医療に関連する講演や指導等を過去1年以内に実施したことはありますか（複数回答可）。



資料 9 - 1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1 回以上認定更新）

（質問 16）小児薬物療法認定薬剤師を取得してから現在までに、筆頭者として小児医療関連のテーマで学会発表や論文投稿を行った経験はありますか。



（質問 17）質問 16 で「ある」と答えた方にお聞きします。学会発表の場合は発表演題と学会名、開催年月、論文投稿の場合は論文タイトル、掲載された学会誌名・発行年・巻・号を可能な限りお教え下さい（各3つまで）。（自由記載：別紙）

学会発表の場合（演題等）・論文掲載（誌名・発行年・巻・号等）	職種
演題名：低体温療法施行中のゲンタマイシン投与量の再考：トラフ血中濃度が高値であった4症例、開催年月：2017年の日本小児臨床薬理学会	病院・診療所
第34回医療薬学会年会 小児の服薬支援における退院時フォローアップ依頼書の有用性評価 2024年11月2-4日開催	病院・診療所
第49回小児臨床薬理学会	病院・診療所
日本小児アレルギー学会、日本小児臨床アレルギー学会	病院・診療所
小児におけるスルファメトキサゾールトリメトプリム配合剤小型錠の服用性に関する調査（医療薬学会2022）	病院・診療所
薬剤師と抗菌薬の適正使用 日本外来小児科学会 2018 グラム染色画像を供覧しながら説明する試みが保護者の抗菌薬に対する考え方にどのような影響を与えたか 日本外来小児科学会 2018 小児急性中耳炎に対する処方判断としての重症度分類とグラム染色の有用性 医療薬学会フレッシュアーズカンファレンス 2023	病院・診療所

資料 9 - 1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果 (1 回以上認定更新)

<p>薬剤耐性(AMR)アクションプラン策定後の小児科における抗菌薬の使用状況調査(第 58 回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会、2019 年 11 月)</p> <p>川崎病治療における当院でのアスピリン服用時の工夫調査(第 48 回日本小児臨床薬理学会、2021 年 10 月)</p> <p>小児用コロナワクチンに対する接種開始前の意識調査(第 49 回日本小児臨床薬理学会、2022 年 11 月)</p> <p>味覚試験による小児用抗菌薬の院内採用方法の検討(小児臨床薬理学会雑誌、2019 年第 32 巻第 1 号)</p> <p>成人の味覚試験で選定されたクラリスロマイシンドライシロップの後発薬品と先発薬品の比較による小児患者の服薬アドヒアランス調査(小児臨床薬理学会雑誌、2021 年第 34 巻第 1 号)</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>ミコフェノール酸モフェチル再投与後に低アルブミン血症が原因で副作用が発現したと考えられる 1 例、第 18 回かながわ薬剤師学術大会、2020 年 1 月</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>新生児におけるデクスメトミジンの離脱症状に関する検討、日本小児臨床薬理学会雑誌、2024 年、37 巻、1 号</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>くずりと糖尿病 Vol.9 No.1 2020</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>Prophylactic Effect of Polaprezinc, a Zinc-L-carnosine, Against Chemotherapy-induced Oral Mucositis in Pediatric Patients Undergoing Autologous Stem Cell Transplantation Anticancer Res. 2018 Aug;38(8):4691-4697. doi: 10.21873/anticancerres.12775.</p> <p>小児患者における造血幹細胞移植前化学療法に伴う口内炎に対するポラプレジンクの予防効果 第 11 回 日本緩和医療薬学会年会</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>外来小児科 18(1): 88-91, 2015.、日本薬剤師会雑誌 68 (2), 233-235, 2016</p>	<p>薬局</p>
<p>論文投稿</p> <p>①Developmental changes of fluconazole clearance in neonates and infants in relation to ontogeny of glomerular filtration rate: literature review and data analysis J Pharm Health Care Sci. 2018 Mar 20;4:5.</p> <p>②4 歳以上 15 歳未満の焦点てんかん患者に対するラコサミド単剤療法の使用経験 日本小児臨床薬理学会雑誌 第 36 巻第 1 号(2023 年)</p> <p>学会発表</p> <p>①神経発達症に伴う睡眠障害に対するメラトニン(メラトベル?)の有効性と安全性の検討 第 51 回日本小児臨床薬理学会学術集会(2024 年)</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>小児科病院 NICU/GCU における病棟活動 日本小児臨床薬理学会</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>薬剤師介入により患児の注射恐怖軽減から主体的な治療参加につながった 1 症例 日本ペインクリニック学会 2022 年 7 月</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>日本医療薬学会</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>愛媛県全域における小児吸入指導の標準化を目指した認定制度の取り組み、第 50 回日本薬剤師会学術大会、2017 年 10 月開催</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>ポスター、日本小児臨床薬理学会学術集会、2024 年 11 月</p>	<p>大学</p>
<p>小児臨床薬理学会 2021 年「周産期・小児専門医療施設における AST 活動」日本医療薬学会 2024 年「大阪母子医療センターにおける抗菌薬の使用状況と耐性に関するグローバル時点有病率調査(G-PPS)結果と課題」</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>論文:小児臨床薬理学会</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>小児独立病院型施設における集中治療病棟での病棟薬剤師半日常駐による医療者からの質問対応業務の変化 R6 年度関東ブロック第 54 回学術大会 in Saitama</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>小児臨床薬理学会学術集会、同学会誌に発表内容の論文をしました。</p>	<p>病院・診療所</p>

資料 9 - 1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1 回以上認定更新）

<p>&lt;学会発表&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 66 回小児血液・がん学会、2024 年 12 月</li> <li>・第 65 回小児血液・がん学会、2023 年 9 月</li> <li>・第 64 回小児血液・がん学会、2022 年 11 月</li> </ul> <p>&lt;論文投稿&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯型精密輸液ポンプを用いたブリナツモマブの在宅投与. 日本小児血液・がん学会雑誌; 59: 281-286, 2022</li> <li>・Two-point blood sampling is sufficient and necessary to estimate the area under the concentration-time curve for intravenous busulfan in infants and young children. <i>Pediatr Blood Cancer</i>. 2021 Aug;68(8):e29069</li> <li>・Tacrolimus blood concentration increase depends on administration route when combined with voriconazole in pediatric stem cell transplant recipients. <i>Pediatric transplantation</i>. 24: e13619, 2020</li> </ul>	病院・診療所
日本小児臨床薬理学会雑誌 第 32 巻 第 1 号、第 45 回 日本小児臨床薬理学会学術集会 一般演題3	病院・診療所
Pharmacological counseling and disease maker monitoring for refractory chemotherapy-induced constipation associated with pediatric cancer therapy 小児血液、がん学会 2020.11	病院・診療所
Medication counseling and prophylactic intervention for chemotherapy-induced neuropathy associated with pediatric cancer treatment 小児血液、がん学会 2019.11	
小児のかかりつけ薬剤師について 日本薬局学会	薬局
第 49 回日本薬剤師会学術大会	病院・診療所
<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤耐性 (AMR) 資材配布企画が地域薬剤師に与えた影響の調査研究: 小児薬物療法研究会で AMR 対策に取り組む意義の考察. 日本小児臨床薬理学会誌 2022;35</li> <li>・将来の小児医療を守る!? 薬局薬剤師の立ち位置を活かした AMR 対策活動～: 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 71 回日本化学療法学会学術集会 合同学会 2023 年 4 月</li> <li>・薬局薬剤師の立ち位置を活かした AMR 対策活動～小児領域での実践をすべての薬局薬剤師の活動へと広げるために～: 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会第 71 回日本化学療法学会学術集会 合同学会 2024 年 6 月</li> </ul>	薬局
「小児科系病棟での抗菌薬使用量調査」第 43 回日本病院薬剤師会近畿学術大会 (2022.1.29-1.30)	病院・診療所
「ω3 系脂肪酸製剤 (Omegaven?) の分注後安定性の検討について」第 49 回日本小児臨床薬理学会学術集会 (2022.11.4-11.5)	
<p>①第 49 回日本小児臨床薬理学会 2022 年 11 月 04 日(金)、2022 年 11 月 05 日(土)「チャット機能を活用した小児在宅医療のシームレスな薬剤管理」</p> <p>②第 50 回日本小児臨床薬理学会 2023 年 9 月 30 日～10 月 1 日「カルバマゼピンの粉碎依頼からわかった小児の錠剤投与における問題点」</p> <p>③第 50 回日本小児臨床薬理学会 2024 年 11 月 9 日(土)・10 日(日)「カニューレ抜去を目指して ～患児家族へのサポート～」</p>	薬局
処方・注射における小児薬用量を確認する方法の見直し	病院・診療所
日本医療薬学会	病院・診療所
肺炎球菌ワクチン(PCV)13 価・ヒブワクチン導入後の抗菌薬使用量と耐性菌動向の調査	薬局
<p>&lt;学会発表(シンポジウム)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児集中治療室における?薬剤師業務の現状報告(第 29 回小児集中治療ワークショップ?)</li> </ul>	病院・診療所

資料 9 - 1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果 (1 回以上認定更新)

<p>・小児集中治療室における?薬剤師の役割?～未来ある子どもたちを救うためにできること～(第 33 回日本医療薬学会年会?)</p> <p>・大学病院における小児薬物療法に?関わる卒前卒後教育の取り組み?(第 34 回日本医療薬学会年会?)</p>	
<p>小児科近隣薬局における完全分離型の感染症待合室, 非感染症待合室の有用性評価・YAKUGAKU ZASSHI・2020 年 140 巻 4 号</p> <p>A Comparison of the Frequency of Prescription and Pharmacy Revisits between Baloxavir Marboxil and Neuraminidase Inhibitors in Influenza-Infected Pediatric Patients during the 2019?2020 Influenza Season・Biological and Pharmaceutical Bulletin ・2020 年 43 巻 12 号</p>	薬局
医療薬学会	病院・診療所
<p>小児川崎病治療における免疫グロブリン不応例予測に関する研究 第 31 回日本医療薬学会年会</p> <p>2017 年シーズンの Respiratory Syncytial Virus 感染患者の臨床症状とリスク因子に関する研究 第 28 回日本医療薬学会年会</p>	病院・診療所
<p>小児在宅医療における薬剤師の実践モデルの構築の試み 薬学雑誌 2023 年 143 巻 3 号 p. 281-295</p> <p>小児在宅医療における散剤調剤の課題:小児用製剤開発に向けた提言 日本小児臨床薬理学会雑誌 巻: 32 号: 1 ページ: 21-27 発行年: 2020 年</p> <p>小児在宅中心静脈栄養療法における薬剤師の役割 日本小児臨床薬理学会雑誌 巻: 30 号: 1 ページ: 42-47 発行年: 2018 年</p>	薬局
<p>「小児における錠剤内服可能な年齢について」</p> <p>2018 年日本薬剤師会学術大会</p>	病院・診療所
<p>トスフロキサシン内服中に低血糖による初発のけいれんを来した一例 日本小児臨床薬理学会 第 36 巻第 1 号 2023 年</p>	病院・診療所
<p>成長ホルモン製剤のデバイス変更での当院の取り組み 全国自治体病院学会 2024 年 10 月</p>	病院・診療所
<p>慢性咳嗽に伴い肺動脈形成術延期を余儀なくされた一例 第 38 回日本小児臨床アレルギー学会 2022 年 7 月 2-3 日</p> <p>DPI 製剤にこだわる 第 39 回日本小児臨床アレルギー学会 2023 年 7 月 15-16 日</p> <p>DPI 製剤にこだわる 日本小児臨床アレルギー学会 2024.22(1)</p>	病院・診療所
<p>新生児発作において複数の抗てんかん薬を使用した 1 例(日本小児臨床薬理学会 2024 年 11 月), NICU において新生児の疼痛管理に病棟薬剤師が介入した 1 例(日本病院薬剤師会雑誌 Vol.56 No.2 2020)</p>	病院・診療所
<p>Association between cumulative cisplatin dose and reproductive and sexual functions in patients with malignant ovarian germ cell tumors treated with bleomycin, etoposide, and cisplatin therapy: a case series study. Journal of pharmaceutical health care and sciences 8(1) 33-33 2022 年 11 月 17</p> <p>医療薬学 45 (3), 150-158, 2019-03-10</p>	病院・診療所
<p>○小児造血幹細胞移植においてシクロスポリン投与経路変更とボリコナゾール併用を同時期に行った 4 症例.第 37 回日本 TDM 学会・学術大会. 5.29, 2021.</p> <p>○当院における未就学児への経口プレドニゾロンの使用状況と錠剤内服の受容性の現状調査.</p> <p>第 31 回日本医療薬学会年会. 10.9, 2021.</p> <p>○薬剤師力の型 新たな思考と行動プランを手に入れる!(玖ノ型) 子どもへの服薬指導に挑戦! 薬局 73 巻 10 号 pp.2629-2637</p>	PMDA
<p>日本小児臨床薬理学会、2024.11、小児の処方におけるインシデントの傾向と対策の検討</p>	病院・診療所
<p>当院小児科における食物経口負荷試験の事前説明への薬剤師の介入 小児臨床アレルギー学会 2022 年 当院小児科における食物経口負荷試験の薬剤師の介入 小児臨床アレルギー学会 2023 第 21 巻第 3 号</p>	病院・診療所

資料 9 - 1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果 (1 回以上認定更新)

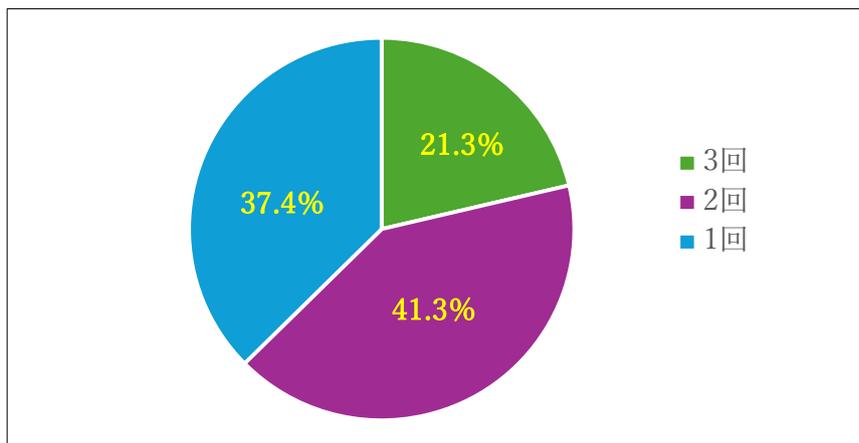
<p>①第 50 回日本小児臨床薬理学会 2023 年 9/30、10/1 一般演題(ポスター) 当院 GCU 病棟における病棟薬剤管理指導の現状と今後 日本小児臨床薬理学会雑誌第 37 巻 1 号 令和 6 年 抄録掲載</p> <p>②第 51 回日本小児臨床薬理学会 2024 年 11/9、10 一般演題(ポスター) GCU 病棟における服薬指導一病棟看護師との連携 日本小児臨床薬理学会雑誌第 38 号 論文投稿予定</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>【学会発表】 発表演題: 神経性食欲不振症に対して薬学的介入を行い肝機能が改善した一例 学会名: 第 48 回日本小児臨床薬理学会学術集会 開催年月日: 2021 年 10 月 24 日(日)</p> <p>【論文】 論文タイトル: 神経性やせ症に対して薬学的介入を行い肝機能が改善した 1 例 学会雑誌: 日本小児臨床薬理学会雑誌、2022 年、第 35 巻、第 1 号</p>	<p>大学</p>
<p>論文: 筆頭著者のみ 日本小児臨床薬理学会雑誌 第 29 巻 第 1 号 2016 年 51-55 「園や学校におけるエピペン?対応研修の取り組み」 近藤佳代子、増田進 日本小児臨床薬理学会雑誌 第 30 巻 第 1 号 2017 年 53-57 「新生児におけるレボフロキサシン(クラビット?)点眼薬治療の検討」 近藤佳代子、安藤仁志、吉村俊和 日本小児臨床薬理学会誌 第 31 巻 第 1 号 2018 年 9-13 「添加物として含まれる乳糖の含有量と食物アレルギーの検討」 近藤佳代子、安藤仁志、柘植郁哉、近藤康人 日本小児臨床薬理学会誌 第 32 巻 第 1 号 2018 年 49-52 「舌下免疫療法における口腔内症状に対する抗ヒスタミン薬の有用性の検討」 近藤佳代子、山脇一夫、柘植郁哉、近藤康人 日本小児臨床アレルギー学会誌 第 20 巻 第 1 号 2022 年 23-30 「小中学校でのアナフィラキシー症状理解を目標としたシミュレーション研修効果の検討」 近藤佳代子、望田るみ、山脇一夫、柘植郁哉、近藤康人 日本小児臨床薬理学会誌 第 35 巻 第 1 号 2022 年 38-42 「医薬品添加物に用いられるデンプンと食物アレルギー発症リスクの検討」 平島佳代子、塚本久之、勅使河原深雪、小林貴江、柘植郁哉、近藤康人 日本小児臨床アレルギー学会誌 2024 掲載予定 「小児アレルギーエドゥケーター薬剤師の指導と活動実態調査」 平島佳代子、三浦哲也、上荷裕広、近藤康人 学会発表: 筆頭演者のみ 2015 年 11 月 日本小児臨床薬理学会 「園や学校におけるエピペン対応研修の取り組み」 2016 年 11 月 日本小児臨床薬理学会 「新生児に対するクラビット?点眼液について」 2017 年 7 月 日本小児難治喘息アレルギー疾患学会 ハンズオンセミナー「吸入指導虎の巻」講師 2017 年 9 月 日本外来小児科学会 ワークショップ「見て、聞いて、触って、考えて、納得の吸入指導！」講師 2017 年 10 月 日本小児臨床薬理学会 プレナリーセッション 「添加物として含まれる乳糖の含有量と食物アレルギーの検討」</p>	<p>病院・診療所</p>

資料9-1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1回以上認定更新）

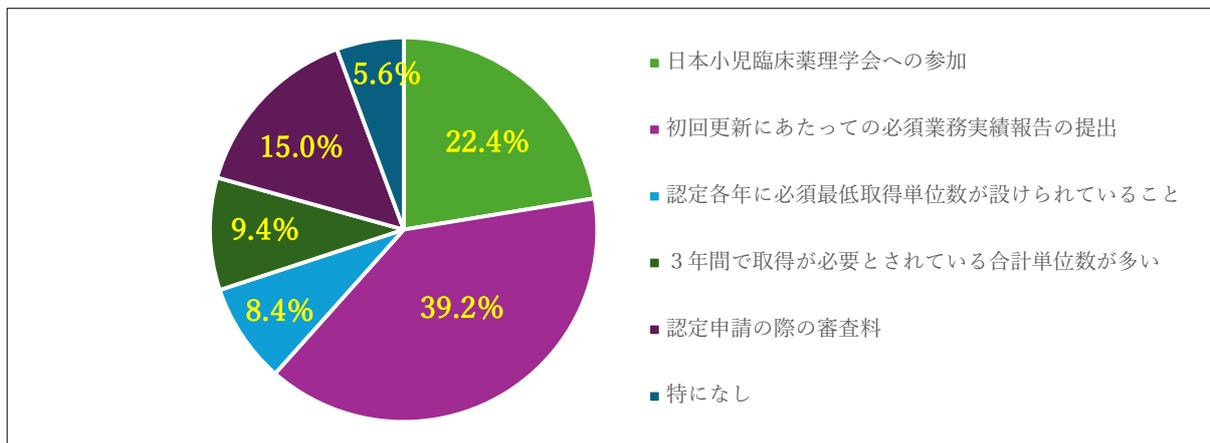
<p>2018年6月 医療薬学フォーラム 2018/第26回クリニカルファーマシーシンポジウム シンポジウム「小児医療特有の問題点を他方面から解決するアプローチ」シンポジスト 2018年7月 日本小児臨床アレルギー学会 シンポジウム「食物負荷試験入院におけるクリニカルパス導入の評価」シンポジスト 2018年9月 日本薬剤師会 分科会「こどもたちのために明日役に立つことー薬剤師でこどもたちを守ろうー」シンポジスト 2018年10月 日本小児臨床薬理学会 「舌下免疫療法における有害事象と抗ヒスタミン薬併用に関する検討」 2018年12月 東海花粉症研究会 「花粉症治療における抗ヒスタミン薬の位置づけ」 2019年7月 日本小児臨床アレルギー学会 「小中学校でのアナフィラキシー症状理解を目標としたシミュレーション研修の報告」 2019年8月 日本外来小児科学会 ハンズオンセミナー「親子に寄り添った吸入支援を目指して」講師 2019年9月 日本小児臨床薬理学会 「アレルギー予防を目的としたスキンケア方法を出産時に母親へ教育する効果検討」 2019年10月 日本薬剤師会 分科会「薬剤師だからできる子育て支援」シンポジスト 2020年10月 日本小児臨床薬理学会 プレナリーセッション「医薬品添加物に用いられるでんぷんと食物アレルギーの検討」 2021年5月 日本小児臨床アレルギー学会 「出産後の母親へパンフレットを用いた新生児のスキンケア指導の導入について」 2021年10月 日本小児臨床薬理学会 「不妊治療中に経口糖尿病薬を使用した一例」 2022年11月 日本小児臨床薬理学会 「当院における新型コロナウイルス感染症の小児科患者数推移とワクチン接種率の報告」 2023年7月 日本小児臨床アレルギー学会 「小児アレルギーエドゥケーター薬剤師の指導内容と活動実態調査」 2023年10月 日本小児臨床薬理学会 「スギ舌下錠による他花粉IgEへの影響について」</p>	
<p>分からない</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>小児慢性心不全に対するカルベジロール投与に関する調査 小児臨床薬理学会</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>新生児?乳児におけるミダゾラムによる逆説反応発現リスク因子の検討:症例対照研究 日本小児臨床薬理学会雑誌 2022年 vol35No.1 新生児?乳児に対するカルシウム?リン製剤の同時投与時における吸収量低下リスクの検討 (日本小児臨床薬理学会雑誌 2023年 vol36No.1)</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>小児と成人が混在するICUでの小児集中治療に対する薬剤師の関わり ～安全な小児集中治療の提供および小児急変時対応への参画～, 第33回日本医療薬学会年会, 2023年11月;大腸DDS技術を用いた新規ジプロピオン酸ベクロメタゾン製剤開発, 第49回日本小児臨床薬理学会学術集会, 2022年11月;薬剤師常駐によるチーム医療への参画ー致死性不整脈を発症した児の急変時対応への参画および薬学的介入を行った一例ー, 第46回日本小児臨床薬理学会学術集会, 2019年9月;薬剤師常駐によるチーム医療への参画ー致死性不整脈を発症した小児の急変時対応への参画および薬学的介入を行った1例ー, 日本小児臨床薬理学会雑誌, 2020年, 第33巻, 第1号</p>	<p>病院・診療所</p>
<p>・学会発表 2020年9月 第47回 小児臨床薬理学会 ポスター発表「ケトン食療法中の患者における調剤方法の情報共有に関する取り組み」</p>	<p>病院・診療所</p>

資料 9 - 1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1 回以上認定更新）

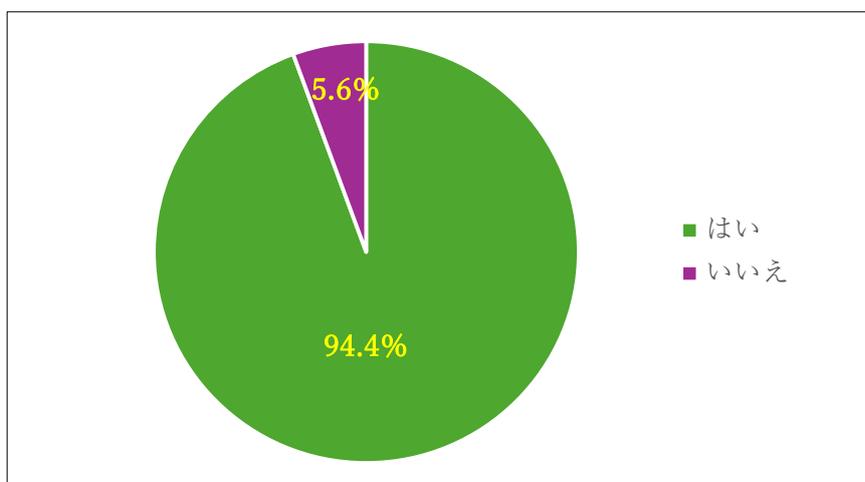
（質問 18）小児薬物療法認定薬剤師の認定更新をこれまで何回行っていますか。



（質問 19）小児薬物療法認定薬剤師の認定更新にあたって一番負担に感じたことがあれば一つ選んで下さい。



（質問 20）今後も認定を継続していくつもりですか。



資料9-1 小児薬物療法認定薬剤師へのアンケート結果（1回以上認定更新）

（質問21）質問20で「いいえ」と答えた方にお聞きします。その理由を教えてください（自由記載）。

理由	種別
日常業務が多忙、認定を持っていても特にメリットがない	病院・診療所
必須単位の取得が難しいから	薬局
<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新のための単位システムにお金がかかる。</li> <li>・付与単位の偏りを感じる(論文筆頭著者でも1単位しか認められないなど)</li> <li>・審査料に毎回1000円かかる</li> <li>・資格があることが現場であまり活かされない、優遇もされない</li> </ul>	病院・診療所
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定薬剤師取得の意味が無い。</li> <li>・認定更新のために必要な学会参加ではあるが、学会参加費の値上げ(+ランチョン別料金)にも関わらず、学会の内容が重質しておらず参加意欲が削がれる。参加の必要性をあまり感じない。(小児科学会やその他小児科関連の学会の方が勉強になるためそちらに参加するようにしている。小児科学会の方が勉強になるし、ワクワクする。)</li> <li>・小児関連の単位の取得できる講習会も少なく認定維持が大変</li> <li>・そもそも小児医療を薬剤師がやる入口のような資格なので、認定といえないと思う。今後小児専門薬在師やそれに付随する保険資格が取れるような仕組みにして欲しい。(薬局だけでなく病院で働く薬剤師にも)</li> </ul>	病院・診療所
<p>資格保有していることのメリットがない</p> <p>学会で聴講しようにも、会場の収容人数も少なく、聴きたい講演が聴けなく、学会参加も積極的にしたいと思えない。また、演題が1つなのに会場に入れられないなど、他の学会ではありえないこともある。</p> <p>先日の学会では、最終演題終了から聴講の登録を終了までにかかなりの時間を要したため、改善を求めたい。</p>	病院・診療所
勤務先に小児科がないから	病院・診療所
意味を全く感じないから	病院・診療所
あまりメリットが感じられない。更新が3年と短いのも負担である	病院・診療所
小児科の無い職場であるため努力して継続してもあまり役に立たない	病院・診療所
役立てる業務につけていないため	病院・診療所
職場では価値のない資格のため、また更新のための学会費用もオンラインがなくなったので、もういけない。更新費用も高いし、交通費もバカにならない。会社では一切負担はありません。	薬局
継続する上で、単位取得が大変であるが、日常業務に活かす機会が少ないため。	薬局
持っても意味がないので	病院・診療所
産休、育休を挟み、単位が集められないため	病院・診療所
小児臨床薬理学会の単位認定がきつい。今年もひどかった。拘束しすぎ	病院・診療所
単位取得と申請にかかる手間が収入に繁栄されない 勉強は認定を継続しなくてもできる	薬局